



押し花文化 を広げたい



筒井さんの作品「難を転じて」

10 年程前に制作したのですが、今でも南天の赤い実や葉がきれいに色づいています。

大牟田押花の会

会 長 筒井 雅代さん (左)

事務局 四井 理枝さん (右)

輝 人

おおむた

大牟田押花の会は、現在約50人の押し花イラストレーターが所属しています。観光プラザや道の駅での出品や作品展の開催をはじめ、イベントなどの押し花体験で講師を務めています。

大牟田押花の会は、故・杉野俊幸さんにより平成6年に結成されました。杉野さんが色の褪せにくい押し花の技術を開発されたことで、花だけでなく、果物や野菜なども色鮮やかなまま押し花にすることができるようになり、表現の幅が広がりました。この技術が大牟田から全国に広がったことで、大牟田は「押し花文化の発祥の地」と言われています。会では、杉野さん亡き後もたくさんの人に押し花文化を広めたいという思いで活動を続けています。

押し花には、花を選ぶところから、押し花にする制作過程、表現までさまざまな楽しみがあります。押し花にすることで長く楽しめるので、自分で育

てた花や結婚式のブーケを押し花にする人も多いです。心を込めて作った作品が、誰かを癒したり、喜んでもらえたりすると感慨深いものを感じますね。

たくさんの方に押し花に触れてもらいたいという思いから、声をかけられたイベントには必ず参加するようにしています。最近では、学童保育所や小中高の授業で教えることもあり、子どもたちが押し花を楽しんでいる姿を見ると嬉しくなります。

若い世代の会員が少ないのが課題ですが、押し花はどの世代でも楽しめるので、これからも押し花の魅力を伝えていきたいです。

2月開催の「まちゼミ」で押し花体験を開催します。簡単にできるのでぜひ参加して欲しいです。

編集後記

▼広報アンケートで文化財こぼれ話が好評だったので、今回は広報課こぼれ話を▼広報課では広報おおむたの締切日にお好み焼きを食べる慣習があります。締切に向けて同じ物を食べて一致団結というわけではなく…お好

み焼きなら作業しながらでも食べれるからとのこと▼その慣習のとおり、昨年はお昼を食べる時間さえないと追い込まれたことも何度か…▼今年こそは、お好み焼きを味わって食べれる余裕ある年になりますように(仁)

柔道強国！ ジョージアの魅力



Vol.6

4コマ漫画で紹介するジョージアの魅力

在日ジョージア大使館のSNSで連載された4コマ漫画「タマダ君と行く100日間ジョージア文化の旅」が本になりました。スポーツ推進室、図書館、各地区公民館で閲覧できるほか、在日ジョージア大使館ホームページで見ることができます。

コロナ禍の中、ジョージアを訪問し魅力に触れることは難しい状況ですが、この本を読んで、ジョージアの文化・歴史などを感じてみませんか。

タマダ君と行く100日間

Q 検索



Facebookで
情報発信中



大牟田市は、柔道ジョージア代表のホストタウンです